

## 「船用ディーゼル主機関の排熱回収による発電・推進アシストシステムの開発」 日本船舶海洋工学会賞 受賞

株式会社商船三井殿及び三菱重工船用機械エンジン株式会社殿と共同開発しました「船用ディーゼル主機関の排熱回収による発電・推進アシストシステムの開発」に関し、この度、日本船舶海洋工学会賞を受賞いたしましたのでお知らせいたします。

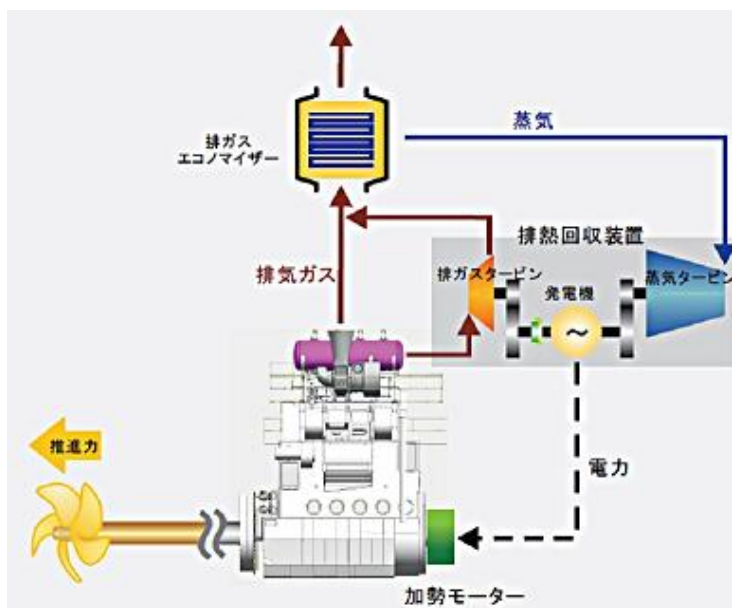
日本船舶海洋工学会賞は、造船・造機、海洋工学のほか一般海事に関する優秀な著書や調査、実用的価値のある新技術の開発、発明、考案などで、公表されたものに対して授与される賞であり、平成26年春季講演会（仙台国際センター：5月26日）におきまして表彰式が行なわれました。

今回受賞しました『排熱回収システム』は、株式会社商船三井殿の次世代船シリーズコンセプトである「ISHIN-III」（大型鉄鉱石専用船）の実現に向けて共同開発し、本システムの搭載により、従来の同型船と比較して、航海中の燃料消費量の約8%削減が見込まれると共にCO2排出削減にも寄与いたします。

### 〈特長〉

- (1) 排熱エネルギー回収装置は、三菱重工船用機械エンジン株式会社製「MERS (Mitsubishi Energy Recovery System)」を採用
- (2) 排熱エネルギー回収装置は、排ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせた発電機を装備しており、両者の最適制御により、排ガスエネルギーを効果的に回収した発電が可能
- (3) 上記(2)で発生させた電力により、通常航海中の船内電力を賄うとともに主機関の推進アシストへ活用が可能
- (4) 各タービンの始動と停止をオートシーケンスで行うなど自動化を図っており、乗組員にとって使いやすいシステムとしている

当社は、燃費の削減並びにCO2削減を基本方針とした各具体策へ積極的に取り組むことで、今後も地球環境保護に貢献する船舶、時代のニーズにフィットする新しい技術を開発・提供してまいります。



装置イメージ



以上